

仕事人のアイテム紹介

『アイテム名：俺は嘘つかない。アイテムは真の職人魂』

VOL.016



船大工 安藤 清蔵さん

六ヶ所村泊生まれ。20代で師匠から独立し、白糠に移り、造船技術を磨きました。

これまで、コンブ漁の小型船から祭禮用の船山車まで、数多の船を建造したほか、アメリカ人と船大工に造船技術を指導したり、北前船の復元作業等、和船文化の継承にも携わりました。

こうした功績が称され、平成17年には文化庁長官表彰を受賞されました。

**俺は嘘をつかない。
正直に暮らしていれば必ず良いことがある。**

安藤さんの口癖——正直に暮らし、地道に技を磨き功績を残してきた安藤さんの姿が“論より証拠”ですね(^▽^)

復元北前型弁財船「みちのく丸」

日本古来の和船の建造技術や歴史を後世に伝えるべく、選ばれた16名の船大工により、北前船の復元が行われました。安藤さんも、この16人の船大工の1人であり、復元された船は現在、野辺地町の「常夜燈公園」に陸揚げされています。

安藤さんが手掛けた船を公園で鑑賞することができますよ！



常夜燈公園のみちのく丸

撮影協力者：安藤造船所 安藤清蔵(89歳)

「仕事人のアイテム紹介」のコーナーでは、撮影協力者を随時募集しています。自慢の相棒と載ってみませんか～

来年は卒寿！いつまでもお元気で！

今日の『ひがしどおり小話』

No.20 老健の地域貢献活動 AED講習会開催

9月14日、東通村介護老人保健施設「のはなしようぶ」で、心停止の人を救命する小型の医療機器「AED」の使い方を学ぶ講習会が開催されました。

これまで「のはなしようぶ」では、コロナ禍で参集型の活動が規制されていましたが、約5年ぶりに地域の方を招待して、今回のAED講習会が行われたということです。

講習会では、東通村診療所研修医の古木 勇亮 医師が、一次救命について講演され、参加の皆さんも人体モデルを使用して、胸骨圧迫やAEDの使用の実技を行いました。

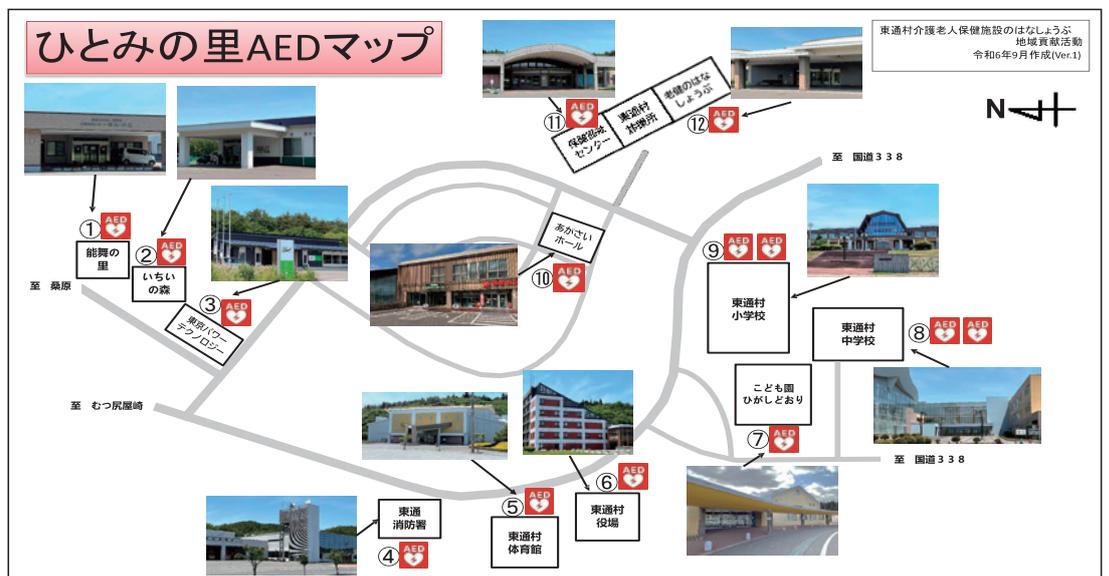
AEDは操作方法を音声でガイドしてくれるため、一般の方でも簡単に使用できます。いち早い措置で命を救える割合が高くなるため、AEDの設置場所や使い方を覚えておくの良いですね！



古木医師によるAED講習



参加の皆さんも実践！



のはなしようぶで作成したAEDマップ

東通村ホームページにも近日掲載する予定ですので、ぜひ参考にしてくださいね。